

## 学 校 の 沿 革

昭和45(1970)年度	11月	・学校設立準備委員会が発足する。
昭和46(1971)年度	3月	・日系メソジスト教会施設を借用して「シアトル日本人学校」を開校 児童生徒数52名、教員4名で発足する。
	6月	・幼稚園部（一年保育）を設置する。
昭和47(1972)年度	4月	・日本政府より補助金交付される。
昭和48(1973)年度	3月	・文集「土曜日」創刊号を発行する。
昭和49(1974)年度	9月	・第1回夏季作品展を開催する。
昭和52(1977)年度	4月	・高等学部を設置する。
昭和53(1978)年度	4月	・文部省派遣教員が着任する。
昭和54(1979)年度	5月	・生徒会が発足する。
	6月	・父母と教師の会（PTA）が発足する。
昭和55(1980)年度	4月	・分校（仏教会）開校。幼稚園部・小学1年の3学級使用
昭和56(1981)年度	4月	・校名を「シアトル日本語補習学校」と改名する。
	7月	・創立10周年記念大運動会を開催する。
	11月	・創立10周年記念音楽会を開催する。
	3月	・創立10周年記念文集「土曜日」を発行する。
昭和57(1982)年度	10月	・校歌を制定する。
昭和63(1988)年度	4月	・シアトル日本語補習学校副校長2人制採用する。
	11月	・現地採用教員の日本派遣研修が開始される。
平成元(1989)年度	9月	・第1回Bellevue市主催の‘Japan week’に参加する。
平成2(1990)年度	4月	・文部省派遣教員が2名体制になる。
平成3(1991)年度	4月	・高等学部選択授業制を導入する。
	11月	・創立20周年記念式典を挙（会場：インターレイク校）する。 ・校章制定および校旗（デザイナー：佐々木豊氏）を作成する。
平成4(1992)年度	4月	・中学部3年国語選択授業制を導入する。
	5月	・学校事務所にコンピューターを導入する。
	1月	・オープンハウスを始める。 ・授業料の銀行振替制度を導入する。
平成5(1993)年度	1月	・APECのために訪米された細川護熙首相より8mmビデオカメラ一式、OHP機器一式 一眼レフカメラ、34インチカラーテレビの寄贈を受ける。 ・教職員給与の銀行振り込みを完全実施する。
平成6(1994)年度	8月	・高等学部の夏季集中授業を特別授業参加希望制から全員参加授業に変更する。
平成7(1995)年度	11月	・移動にともない、レイクヒルズ校のトレーラーを大きなサイズに交換する。
平成8(1996)年度	4月	・小学部「日本語教室」、中学部3学年国語選択授業制度、高等学部の選択授業 制度を廃止する。
平成10(1998)年度	4月	・小学部1年（1学級）・小学部2年（2学級）に国語基礎重点型学級を設ける。 ・中学・高等学部において連絡表（通知表）を配布する。
平成12(2000)年度	7月	・幼小部で借用校（オールド校）内に図書室を設置する。 ・ポートルランド補習授業校の参観研修を実施する。 ・補習校事務所内コンピュータネットワーク敷設
平成13(2001)年度	4月	・小学部1年から中学部3年までさくらコース・しゃくなげコースの目的別学級編制 を行う。
	11月	・進級基準を設定する。 ・創立30周年記念式典を挙（会場：インターレイク校）する。
平成14(2002)年度	4月	・小学部社会科副読本「わたしたちのシアトル・ワシントン州」を発刊する
	9月	・新しいトレーラーを中学・高等学部借用校（インターレイク校）に設置する。
平成15(2003)年度	7月	・小学部でTT(Team Teaching)指導の研究を行う。
	11月	・小学部低学年対象に読み聞かせの会「秘密の本箱」始まる。
	12月	・高等学部でTT(Team Teaching)指導の研究を行う。
	3月	・中学・高等学部で文芸誌「うたごころ」創刊する。
平成16(2004)年度	4月	・学校裁量、学級裁量の時間を設け、中学部に教科別学級編制を導入する。
	6月	・日本漢字能力検定を実施する。
	7月	・成田昌弘氏に学校医を委嘱する。
	9月	・中学・高等学部に養護職員を常置する。
	11月	・安全管理のため、保護者がネームタグの着用を開始する。
	1月	・運営委員会顧問を設置し、中本卓志氏に委嘱する。
	2月	・幼小部図書室で、コンピュータによる貸し出しが始まる。
平成17(2005)年度	4月	・小学部社会科副読本「わたしたちのシアトル・ワシントン州」改訂第2版発刊。

- 7月・中高部を1ヶ月間タイイーミドルスクールへ一時移転する。
- 10月・インターレイクハイスクール新校舎落成の記念植樹(桜)を行う。
- 11月・高等学部で新カリキュラム編成委員会が発足する。
- 平成18(2006)年度  
3月・中高部図書室で、コンピュータによる貸し出しが始まる。  
4月・幼小部で一日校舎移転 (Highland Middle Schoolへ)。  
6月・学級編制プロジェクト委員会発足  
7月・荒川静香さん(トリノオリンピックフィギュアスケート金メダリスト)来校。  
9月・入園入学面接検討委員会が発足する。  
11月・幼小部でオープンハウスが行われる。
- 平成19(2007)年度  
1月・高等学部入学に際し、小論文試験が導入される。  
8月・新事務所へ移転する。  
9月・新事務所で、オープンハウスを開催する。  
11月・新基準による学級編制構想についての保護者説明会を開催する。  
12月・降雪のため、午後を臨時休校とする(12/1)。  
1月・学年末実力テストが試行される。  
3月・事務所長を設置し、中本卓志氏に委嘱する。
- 平成20(2008)年度  
9月・サマミッシュ高校に校舎移転し、幼小部と中高部を統合する。  
・学校移転に伴い、開校式を行う(サマミッシュ高校カフェテリア)。  
10月・朝の10分間読書開始を開始する。  
12月・星出彰彦氏(宇宙飛行士)来校。サマミッシュ校シアターでご講演いただく。  
・降雪のため、13日の6校時を臨時休講、20日を臨時休校とする。
- 平成21(2009)年度  
1月・事務総長を設置し、中本卓志氏に委嘱する。  
4月・主幹制度を導入し、レイ由美子主幹、光岡いずみ副主幹が委嘱される。  
5月・新型インフルエンザへの措置として、みなし出席の規定を一時広げる(～3月)。  
6月・サマミッシュ高校フットボールフィールドで、幼小運動会を開催する。  
11月・幼小部でオープンハウスが行われる。
- 平成22(2010)年度  
1月・実力テストを進級進学判定に取り入れた新基準による学級編成構想を実施する。  
6月・夏季集中授業を7月から6月に移す。(出席率は9割を超えた。)  
・シアトル日本商工会の50周年記念マグカップが全児童生徒に贈呈される。  
8月・第6回北米西海岸補習授業校連絡協議会がシアトルで開催される。  
11月・北米西部地区補習授業校現地採用講師研究会がシアトルで開催される。
- 平成23(2011)年度  
2月・根岸英一氏(ノーベル化学賞受賞者)が来校。シアターでご講演いただく。  
4月・小学部社会科副読本「わたしたちのシアトル・ワシントン州」第3版が完成する。  
6月・創立40周年記念運動会を全校で行う。  
7月・教員シカゴ研修としてシカゴ日本人学校のほかに、シカゴ補習授業校を視察する。  
12月・読み書き日本語支援プロジェクトを多くの児童参加で行う。  
・近藤敏行氏(東レノンゾット)が来校。ボーイング787機に関してご講演いただく。
- 平成24(2012)年度  
1月・JICA主催 中高生エッセイコンクールで「学校賞」を受賞する。  
4月・山崎直子氏(宇宙飛行士)来校。シアターでご講演いただく。  
11月・3年ぶりにオープンハウスを開催する。  
2月・海外子女文芸作品コンクールで2年連続「学校賞」を受賞する。  
・PTA主催で進級進学制度説明会を行う。
- 平成25(2013)年度  
6月・観世流の武田宗典氏、武田文志氏による能鑑賞をシアターで行う。  
8月・夏季休業中に一人20冊の貸し出しを行い、図書室を移動させる。  
9月・サマミッシュ高校の校舎改築工事が始まる。  
9月・登下校で学年別駐車場指定でのドロップオフとピックアップ方式にする。  
10月・PTA主催の古本市をWestminster Chapelで行う。
- 平成26(2014)年度  
5月・学校裁量の時間に、「Songs of Hope」の皆さんによる音楽教室を実施する。  
6月・幼小小学部の運動会をベルビューハイスクールで行う。  
8月・北米西海岸補習授業校連絡協議会がシアトルで開催される。
- 平成27(2015)年度  
2月・海外子女文芸作品コンクールで「学校賞」を受賞する。  
3月・シアトル日本語補習学校規約から名誉校長に関する条項を削除する。  
8月・学校規約改定する。  
9月・サマミッシュ高校新校舎完成に伴い、教室を移転する。